

土木工学・建築学委員会分科会の設置について

分科会等名：IRDR分科会

1	所属委員会名	土木工学・建築学委員会
2	委員の構成	30名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	IRDR（災害リスク統合研究）はICSU（国際科学会議）、ISSC（国際社会科学評議会）、UNISDR（国連国際防災戦略事務局）の合同提案で2008年より開始された研究計画として国際展開している。IRDRの国内委員会（IRDR-Japan）は日本学術会議内に設置され、IRDR分科会がその任を担っている。本分科会を、土木工学・建築学委員会に継続して設置し、同時に国際委員会にも所属して、自然科学、社会科学、人文科学全ての領域の委員により構成する。活動内容としては、国内の災害科学及び防災・減災研究の推進、学術（科学技術）と実践（防災実務現場）との連携、国際的IRDR活動との連携、等である。2015年に策定された仙台防災枠組（SFDRR2015-2030）、持続可能開発目標（アジェンダ2030、SDGs）、気候変動に関するパリ協定に対し、特にIRDRの観点から貢献することを目的とする。さらには、フューチャーアース（Future Earth）、世界気候研究計画（WCRP）における災害研究との連携を図る。
4	審議事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. IRDR科学委員会との密接な連携により、わが国のIRDRに関する学術の振興を図ること</li> <li>2. 種々の災害事象を題材として推進される研究活動のレビューを国際的な観点から行い、我が国のIRDR研究のvisibilityを高める方策を検討すること</li> <li>3. SFDRR、SDGs、パリ協定に関する国際的動向をモニターし、防災関連分野において日本学術会議からの貢献の方策を審議すること</li> </ol> <p>に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	平成29年10月30日～平成32年9月30日
6	備考	※新規設置